

9条こわすな！戦争させない！

緊迫した情勢のなか、第6回実行委員会開催

3月19日に、集団的自衛権を行使容認した閣議決定の撤回を求めるオール埼玉総行動実行委員会（以下「オール埼玉総行動実行委員会」）の第6回実行委員会が行われました。

安倍政権が、集団的自衛権行使容認の閣議決定を具体化する安全保障に関わる諸法制の骨格づくりをすすめ、与党協議で合意した内容が明らかになるなど、極めて重要な段階を迎えている最中の実行委員会でした。

実行委員会では、協議に先立ち、当面する情勢をしっかりとらえて運動をすすめていくことから、高田健さんの講演を聴き、国会や法律策定作業の状況、私たちの運動の展望などを学びました。

【情勢学習】高田 健さん
（許すな！憲法改悪・市民連絡会事務局）



実行委員会では、この間、地域や団体での行動や学習などを交流するとともに、現下の情勢をしっかりとらえて、あらためて5月31日のオール埼玉総行動100000人集会を必ず成功させることを確認しました。県内の地域から、団体の中から、運動を広げたたかひを起こしていくこと、県内の多くの人たちとのつながりをつくり広げること、極めて危険な情勢を学び、伝えながら決起を訴えていくことなど、旺盛な運動にとりくむことを確認し合いました。



高田さんは、冒頭に、今年は「戦後70年」だが、本場に「戦後」が続くのかどうかの時点に立っている。「戦後」でありつづけた、「戦後」のバトンを渡す責任がある、と力強く訴えました。

今、日本国憲法の平和主義、立憲主義の戦後最大の危機を迎えている。後藤健二さんらの殺害から、「60力国有志国連合」へ組み込まれた日本は、ODA新大綱など、与党協議を急速に展開し、安倍政権は3月中旬に与党協議をまとめ、連休明けに日米ガイドラインの再改定と法案作成・閣議決定を行い、5月中下旬に法案上程、延長国会でも採決をめざし成立させる決意にたっていることを強調。

安倍政権が5月に提出しようとしている戦争関連法制は、集団的自衛権の行使が違憲とされてきた歴代政権のときに作られた戦争関連諸法制を、今回の閣議決定に即して、修正していくことだと、第1に集団的自衛権の行使、第2に他国軍隊への後方支援の見直し、駆けつけ警護の容認など。海外派兵恒久法も。第3は、武力攻撃に至らない侵害への対処の内容になることを明らかにしました。

一方、強そうに見える安倍政権だが、アベノミクスの行き詰まりや、歴史修正主義に陥って八方ふさがりになっており、改憲・安保・戦争法制、原発、格差社会などの諸問題では世論との大きな乖離があることを強調。政治の方向は国会の中でだけ決まるものではない。国会外でのたたかいは、それによる世論の動向の力が大きい。私たちに第1次安倍政権を崩壊させた経験がある。広範な共同行動が追いつめていった経験がある。共同の運動を全国各地の草の根での共同行動の展開にまで押し広げ、広範な世論を組織することが課題になっている。オール埼玉総行動実行委員会の意義。安倍政権を打ち倒す世論を形成しようとしてよびかけました。

その後、5月31日のオール埼玉総行動1万人集会の全体構想とパレードの方向を確認。また、各実行委員会団体が目標をもって参加者組織にとりくむこと、県内地域からくまなく、地域実行委員会などをつくりながら運動をすすめていくこと、実行委員会参加団体を圧倒的に増やしていくことなどを確認しました。団体内で参加目標を具体的に明らかにしながら各々の過去最高参加者数を上回る目標を立て、それにふさわしい手だてをすすめることも確認しました。

集団的自衛権行使容認の閣議決定撤回めざす 共同行動を広げに広げて 5・31に総結集しよう！



小出実行委員長（右写真）は、「集団的自衛権を行使容認した閣議決定にもとづいて、与党協議がまとめられ、戦争に向かう安全保障関連法の正体が見えてきた。日本を海外に派兵して戦争をする国にする方向になってきている。断じて許してはならない。私たちの運動をいっそう大きなものにして、5月31日には文字通り100000人の人たちを結集し、憲法蹂躪、戦争できる国にひた走る勢力に痛打を浴びせなくてはならない。この間の運動の前進に確信をもって、県内騒然となるような状況をつくりだしていこう」と訴えました。

オール埼玉総行動 実行委員会 ニュース

No.4 2015.3.24

発行：集団的自衛権を行使容認した閣議決定の撤回を求めるオール埼玉総行動実行委員会

さいたま市浦和区高砂 2-3-10 黒澤ビル 2D
電話 048-814-1911 FAX048-814-1912

地域・団体のとりくみから

実行委員会では、この間2月23日から3月4日までのべ6日間、小出実行委員長を先頭に多くの副実行委員長が参加し、17団体を訪問し、5・31オール埼玉総行動成功に向けた参加要請を行ってきたことが報告されました。これまでの、地域や団体のたたかい、行動などのとりくみを報告し合い交流もはかりました。地域から、それぞれの団体の中から、戦争をする国づくりにつながる集団的自衛権行使容認の閣議決定の撤回を求める声をあげていくことが強調されました。



埼玉土建
段 和志さん

危険な情勢を跳ね返す、集会成功に全力をあげる

今、戦争をする国づくりに向けた安保諸法制の準備がすすめら

れ、危険な状況になっていくことが解りました。埼玉土建では、戦争をする国づくりに反対し、5・31集会へ多くの参加者を組織し、全力でとりくむことを確認しています。

バスで参加する地域もあります。バスで参加する地域もありませんが、多くは北浦和駅を利用することになります。万全の配慮が必要ではないか、また、集会場場で参加者が結集する場所の配置や、パレードの宣伝カー配置など、しっかりとした集会準備をすすめていく必要があると考えています。



九条の会さいたま
齊藤修治さん

9条の会が横にながって、連絡会をつくって広げる

9条の会の活動を続けている人たちが集まり、県内の各地域の9条の会が懇談しているだけでなく、連絡会として活動を交流することになりました。たいへん危険な情勢の中で、活動をさらに広げ、多くの9条の会がこぞって実行委員会に加わり、5・31大集会にみんなで結集して、9条の会としてパレードに参加していけるようにしたいと思っています。



県生協連
岩岡宏保さん

組合員に知らせ、集会への参加をよびかける

県生協連では、5・31集会の独自のチラシをつくり、役員の会議で知らせ、すべての組合員に向けて知らせていくことを始めています。加盟している各生協へも要請をすすめてきています。労働組合へも協力の要請をおこなってきました。引き続き多くの参加者を組織できるように相談・懇談をすすめていきます。

実行委員会では、新たに次の方々を副実行委員長として選任することを確認しました。

* * * * *

加藤 ユリ (実行委員、新日本婦人の会埼玉県本部会長)

斎藤紀代美 (実行委員、重慶大爆撃被害者と連帯する会)

坂本 洋子 (代表よびかけ人、教育と自治・埼玉ネットワーク共同代表)

同代表)

笹倉 尚子 (幹事団体・市民じゃるなる)

柴田真佐子 (よびかけ人、日本婦人団体連合会会長)

須貝のり子 (原発埼玉県民投票請求代表者・平和と地球共同代表)

鈴木 幸子 (よびかけ人、弁護士)

中島光知子 (医療生協常務理事・組合員活動委員長)

野田 静枝 (実行委員、NPO A・S・M代表)

野田千香子 (代表よびかけ人、アジア・アフリカと共に歩む会事務局長)

(あいうえお順、敬称 略)



新日本婦人の会
加藤ユリさん

戦争を許さない女性の行動を集会へと結びつけて

女性のレッドストッキングアクション、戦争を許さない女性の行動を、女性団体や地域の方のよびかけでとりくむことになりました。4月28日に県庁からパレードを行います。埼玉土建主婦の会は、その日200人での学習会を行った後に行動に結集することになっています。5・31集会には、女性の参加を2000人の目標をもつてとりくんでいきます。



さいたま市革新懇
古賀健一さん

宣伝を旺盛に、さいたま市から3000人参加を

さいたま市革新懇は、各区の革新懇で目標をもつてとりくんで、3000人で参加しようと全力をあげています。集会を知らせるチラシを全戸配布していく計画もたっています。実行委員会のホームページを使って、集会を知らせることと、中身を充実させて本気でとりくむ必要があるのではないかと。すばやい情報を知らせていく必要があると思います。



越谷9条の会
飛山幸夫さん

若者にわかりやすく訴えていくことをすすめる

草加9条の会が、3月15日に金子兜太さんをよんだ講演会を行いました。戦争と平和を考え合う大きな集会になりました。越谷からも、東部地域での閣議決定撤回を求める運動・行動を起こしていきます。これから、高校門前での宣伝など、若者にわかるような宣伝を強めていくことが求められていると思います。